

座公演

五十四の瞳

●作 鄭 義信

●演出 松本祐子

●出演 たかお鷹 金沢映実 神野 崇
頼経明子 松岡依都美
越塚 学 杉宮匡紀 川合耀祐



五十四の瞳

●作……鄭義信 ●演出……松本祐子

あらすじ

舞台は戦後間もないころの瀬戸内海に浮かぶ小さな島。採石業が唯一の産業であるこの島には学校が一つしかなく、それは朝鮮人学校であった。柳仁哲(ユ・インチョル)と新しく赴任した何やら訳ありな女性教師、康春花(カン・チュンファ)の下、日本人も朝鮮人も分け隔てなく学んでいた。しかしある日、占領軍(GHQ)が全国の朝鮮人学校閉鎖を宣言する。これに対し大阪や神戸で大規模な抗議デモが巻き起こった。このままでは俺たちの学校もなくなってしまう！ 少年たちは神戸の抗議デモに参加するため、親や先生に内緒で島を飛び出していくのだった…。

●出演



たかお鷹



金沢映実



神野 崇



頼経明子



松岡依都美



越塚 学



杉宮匡紀



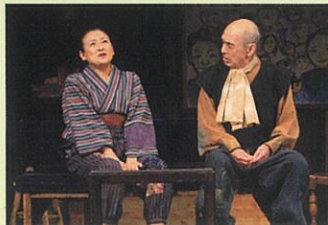
川合耀祐

●スタッフ

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-----------|
| 美術…………… | 乗峯雅寛 | 演出補…………… | インディー・チャン |
| 照明…………… | 賀澤礼子 | 制作…………… | 前田麻登 |
| 音楽…………… | 芳垣安洋 | 宣伝美術…………… | 伊波二郎 |
| | 高良久美子 | | (イラスト) |
| 音響…………… | 丸田裕也 | | 小田善久 |
| 衣装…………… | 宮本宣子 | | (デザイン) |
| 舞台監督…………… | 寺田 修 | 舞台写真…………… | 宮川舞子 |

演劇鑑賞会の皆様へ

この作品は、激しくも温かい人間たちを描く鄭義信さんの愛に溢れる物語です。日本人とは、民族とは何か。それをも越えて人間と人間が会ってぶつかりながらも共に生きていく。その絆は強く深くなっていきます。演劇を通して出会い、そして共に歩いていく劇団と鑑賞会との絆も、より一層強く深くして行きましょう。素晴らしい出会いの例会となりますように！



埼玉市民劇場 第333回例会
 2024年4月2日(火)6:30
 3日(水)1:00
 彩の国さいたま芸術劇場

埼玉市民劇場 事務局

さいたま市浦和区高砂2-3-10-2F
 Tel.048-824-6661 Fax.048-824-6672
<http://www.saigeki.com/>

☆埼玉市民劇場は会員制の演劇鑑賞会です

継続的に演劇を鑑賞することを通じて豊かな社会をつくり、地域文化の発展のために運動を広げていくことを目的としています。

☆サークルを基本としています

お友達や家族の方を誘って3名以上でグループを作って入会してください。既存のサークルに入ることもできます。

☆運営は楽しく、会員の手でおこないます

☆入会金・会費

入会金は1000円、会費は月額2500円、学生は半額です。入会する時は、入会金と会費2か月分を添えて事務局に申し込んで下さい。